

3 学校評価計画

	評価項目と具体的取組	担当部	評価指標	達成度判断基準	備考
I 学組 校織 運的 當な	【橋っ子の掟】 学校教育ビジョンの「本年度の重点」を理解し、「橋っ子の掟」を徹底させる指導を継続する。	総務部 学級担任	【満足度指標】 児童は「橋っ子の掟」を守ることの大切さを理解し、掟に従って自分の生活を律することができている。	「橋っ子の掟」がしっかりと守れている児童の割合が A 80%以上 (但しあてはまるくどちらかというあてはまる場合はB) B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	7月12月2月 児童アンケート 教職員アンケート
II 確 かな 学 力 の 育 成	【学力向上】 わかる授業づくり、朝学習や水曜補習タイムにおける基礎的事項の習熟や活用の学習指導に努め、基礎的基本的学力の充実、活用の向上を図る。	教務部	【成果指標】 取組の結果、基礎学力が充実し、活用の向上している。	国語・算数の単元テストの平均点が80点以上、 C R Tの国語・算数の達成率が全国平均より+5以上であった学年が A 全学年 B 5つの学年 C 4つの学年 D 3つの学年以下	7月12月の 単元テストの平均 2月 C R T 結果
	【学び合い、考えを深める授業づくり】 国語科「読むこと」領域において説明文及び物語教材の指導法の向上を図り、児童の主体的な学びのある学習活動を推進し、確かな学びにつなげる。	教育推進部	【満足度指標】 考えを深める児童主体の学び合いの工夫や、 話し方・聴き方ステップ に取り組み、児童が学びを深められたと感じている。	考えを深める話し方・聴き方ステップの学年目標を達成している児童の割合が A 50%以上 B 40%以上 C 30%以上 D 30%未満 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">低学年 ステップ3 中学年 ステップ4 高学年 ステップ5</div>	7月12月2月 話し方聴き方ステップ(児童) アンケート 教員アンケート参照
	【読書の質の向上】 学年「おすすめの本」の指定や、図書館司書と連携したブックトークや良書の紹介などを通して、読書の質の向上を図る。	教務部 (図書担当)	【成果指標】 学年「おすすめの本」を読むことができています。 (低20冊、中・高学年10冊)	学年「おすすめの本」を読み終えた児童の割合が A 95%以上 B 85%以上 C 75%以上 D 75%未満	7月(4冊以上) 12月(8冊以上) 2月(10冊以上) 読書記録
	【家庭学習の充実】 強化週間を設け、家庭学習の充実を図る。宿題の量や自主勉強の充実に努め、学習時間の量と質を充実させる。高学年は、学習内容のモデルを指導し毎日自主的学習に取り組ませる。	教務部	【成果指標】 家庭学習強化週間を設け、学年×10分以上の家庭学習と自主勉強ができている。	強化週間に学年×10分の学習時間を達成した児童の割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	7月11月2月の 家庭学習強化週間 記録
III 豊 かな 人 間 性 の 育 成	【生徒指導の3機能を活かした学級集団づくり】 「生徒指導の3機能を生かした授業づくり」を共通実践し、Q U検査結果より配慮を要する児童への共通理解を図り、自他を大切にす学級集団づくりに努める。	生徒指導部	【満足度指標】 生徒指導3機能を意識した日常の働きかけにより、児童が学校生活に安心感や楽しさを感じている。	学校生活が楽しいと感じている児童の割合が A 90%以上 (但しあてはまるくどちらかというあてはまる場合はB) B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	7月12月2月 児童アンケート
	【道徳教育の充実】 道徳の時間を要として、家庭との連携やG Tの活用により道徳的心情を深め、道徳教育の充実を図る。	教務部 (道徳教育推進)	【努力指標】 人と地域を生かした道徳教育推進事業の成果を活かし、家庭との連携やゲストティーチャーを活用した道徳の授業により道徳的心情を深めている。	年間2回以上、保護者や地域人材を活用した道徳の授業を行った学年が A 全学年 B 5つの学年 C 4つの学年 D 3つの学年以下	7月 12月(1回以上) 2月 教職員アンケート
	【児童の自主性・主体性の育成】 よりよい学校・学級づくりに、児童会や委員会、学級会活動、学校行事等に自主性・主体性をもって取り組める児童の育成に努める。	生徒指導部	【満足度指標】 児童会、委員会、学級活動等において、児童はよりよい学校・学級づくりに進んで取り組めたと感じている。	よりよい校風づくりのために進んで取り組めたと感じている児童の割合が A 90%以上 (但しあてはまるくどちらかというあてはまる場合はB) B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	7月12月 児童アンケート
IV 健 や かな 体 の 育 成	【体力の向上】 体育の授業や体力作り1校Iプラン、スポチャレ等の取組を通して、体力の向上を図る。	保健安全・体育部	【成果指標】 児童はスポチャレを中心に運動に積極的に取り組んでいる。	スポチャレを中心に運動に積極的に取り組んだ児童の割合が A 90%以上 (但しあてはまるくどちらかというあてはまる場合はB) B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	7月12月2月 児童アンケート
	【安全な生活】 学校安全計画にしたがって、安全教育・防災教育を推進し、児童の危機回避能力を高める	保健安全・体育部	【成果指標】 児童に対する「実践的防災教育総合支援事業」を計画通り実施し、危機回避能力を高めることができた。	危機回避能力が高まったと感じている児童の割合が A 80%以上 (但しあてはまるくどちらかというあてはまる場合はB) B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	7月12月2月 児童アンケート 教職員アンケート
V 家 庭 ・ 地 域 と の 連 携	【たちはな夢プランの推進】 優れた芸術文化や働く人の生き方にふれる特別授業を企画し、生き方にふれることで夢や目標を育んでいく。	教務部	【満足度指標】 たちはな夢プランの特別授業を通して児童が学びを深め夢や目標をもっている。	特別授業の学習や活動を通して 楽しい、ためになったと感じた 児童の割合が A 90%以上 (但しあてはまるくどちらかというあてはまる場合はB) B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	特別事業実施時 児童アンケート
	【社会性の育成】 社会性を身につけた児童を地域ぐるみで育成するため、あいさつを重点に、家庭・地域との連携を図り、身近な人に進んで明るいあいさつができる児童を育てる。	総務部 学級担任	【満足度指標】 家庭・地域や学校で、児童は進んで明るいあいさつができている。	進んで明るいあいさつができた児童が A 90%以上 (但しあてはまるくどちらかというあてはまる場合はB) B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	7月12月2月 児童アンケート 12月 保護者アンケート 教職員アンケート